

地域密着型サービス事業者 自己評価表

(認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所)

事業者名	グループホーム 自由の樹	評価実施年月日	平成20年1月21日
評価実施構成員氏名	原 優佳 齊藤 彰 本元 圭子 前 光宏 木龍 由妃 小山内 夕美子 佐藤 節子 藤下 美知恵		
記録者氏名	原 優佳	記録年月日	平成20年1月30日

北海道保健福祉部福祉局介護保険課

は外部評価項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。	職員にてケア理念の意見を出し合いながら皆で作っております。名刺の裏に理念を掲げ、いつでも理念を忘れることのないように、意識できる配慮を行っております。又、廊下等いつでも目に入るところに理念を貼りいつでも意識できるような環境にしております。		
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。	全職員が理念の共有を図り、その理念に基づいたケアを行えるよう日々のミニカンファレンスでも話題にしケアを行っております。		
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。	GH建物内に理念を掲げる事や契約時に現在の理念を配布したり、広報に載せることにより理解を頂いております。		
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。	グループホーム玄関前に「介護についてお悩みの片は御気軽に相談ください」と言う張り紙を張っています。また職員や入居さんが近所での買い物や除雪の際には挨拶をし、日々交流しております。時には隣人と食材等の御裾分けを行っております。		
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。	グループホーム近隣地域にある高校の職場体験研修の実習先(会話がメイン)になっており、実習生徒と入居者さんの交流や、ご近所のお歳暮等のお付き合い、また保育園のお散歩時に途中で寄り添って頂き歌を一緒に歌ったり、お祭りでの神輿、裏庭での花火大会に近隣の方が参加したりと、日々交流できるように配慮しております。		
6 ○事業者の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。	運営推進会議を通じて町内会の方や民生委員の方等と認知症の勉強会等を行い、地域の皆様にその情報(認知症)について伝達して頂くよう、また町内にて介護でお困りの方やご相談あれば自由の樹にご連絡下さる様にお話しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>○評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p> <p>管理者及び計画作成担当者を中心に、各ユニットの職員の意見を反映させながら自己評価を作成しております。その後、評価を踏まえ、改善に取り組んでおります。</p>		
8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p> <p>運営推進会議ではホーム側から日常生活での取り組みの報告をし、出席者には必ず意見を聞き、意見・要望等あれば参考にさせて頂き、サービス向上に活かしております。また運営推進会議以外にも意見等があれば、次回開催時にその情報を伝え返答を報告しております。</p>		
9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p> <p>グループホームにて疑問点や、意見、相談事項があれば、都度市町村(小樽市役所介護保険課、生活保護課)に相談、助言を頂いております。また、小樽市役所内にてパンフレットを置かせて頂いており、市民の皆様に見て頂けるようにしております。</p>		
10	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p> <p>職員は権利擁護の研修に参加し、学ぶ機会を持っております。またその権利擁護が必要な場合には、アドバイス等しながら支援に結び付けていきたいと思っております。</p>		
11	<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている。</p> <p>高齢者虐待に関する研修会に職員が参加し、その後ホーム内で報告会を設け高齢者虐待防止法に関する理解、周知を行っております。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p> <p>入居契約時には契約書を用いて、わかりやすく丁寧に説明するように留意し、項目ごとに質問や意見等の意思を確認し、納得していただいた後、同意を頂いております。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	各ユニットの管理者及び計画作成担当者が入居者さんの意見、不満、苦情等あればそれらを聞き、早急に対応し、運営に反映させるよう取り組んでいます。		
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	広報誌にて月に一度、入居者さんの暮らしを記載した記録や写真を家族に渡しております。また各利用者さんのその月の生活の様子を担当職員が記入しお渡ししております。面会時には日常の様子等を伝えるようにしております。病院受診、検査結果等で家族への連絡が必要なときは速やかに電話で連絡しております。		
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	玄関先に苦情箱(ご意見箱)を設置しております。また、面会時や地方の方でなかなか面会に来られない家族には電話での会話の中で苦情、ご意見、要望をお聞きし、あれば早急に会議を設け、運営に反映させております。		
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月、会議を開いており職員からの意見を聞く体制を作っております。また日頃から職員とのコミュニケーションを図り意見を聞きだしやすい雰囲気作りを心がけております。		
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	入居者1人1人の個性のある生活(暮らし)が出来る様に、その状況をみて職員配置を実践しております。(入居者さんが家に泊まりに行くときや法事でお寺に出かける際又、イベントが行われる時など)		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	入居者さんと職員の間にて築いてきた関係を壊さない為にも、必要最低限の人事異動にとどめ、また異動の際にも、1F、2Fに必ず挨拶するようにし、利用者のダメージを防ぐ配慮を行っております。異動した職員や離職した職員が時々ホームに遊びに来ることもあります。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>適時、会社内の研修や勉強会を設けております。また外部研修の参加を促し、研修後は報告会を開き人材育成の取り組みを行っております。</p>	
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>小樽市内のグループホームの見学や小樽グループホーム協議会の研修に参加し、サービスの質の向上に努めております。</p>	
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>職員の意見や悩みをもらえるような雰囲気作りを心がけ、また会社内での行事等を実施し、ストレスのないように努めております。</p>	
22	<p>○向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>毎日、管理者に今日の出来事を確認し、また随時、現場の様子も伺いにおいて、利用者や職員についての状況把握に努めております。また職員の資格取得で必要なサポートも行い、資格にあわせた給与体制を確保しております。</p>	
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>事前訪問時は生活状況を把握し、また、御本人には必ずホームを見学して頂き、雰囲気を感じて頂きその中で不安な部分や疑問等をお聞きしております。</p>	
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>事前訪問時は家族の立場となり、その求めているもの不安なものを理解して対応しております。また必ず家族にグループホームの見学をして頂き、意見や疑問をお聞きしております。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
25 ○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時にご家族や本人の思い、希望、必要としている支援を最大限に尊重し支援しております。また必要があれば他のサービスを柔軟に活用できるようにしております。		
26 ○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	家にあるなじみの道具等を居室に置いたり今まで家で使用していた食器や趣味の道具を継続して使用したり、必要時は家族の協力を得て手紙を書いたり面会に来ていただいています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	職員は人生の先輩に対して敬意をもって対応し、利用者さんから教わる事を日々の介護に生かし、一緒に行えることは行いながら共に支えあう関係を持てるよう留意しております。		
28 ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	家族の了解を得ながら面会や外出、外食、利用者さんからの電話を受けていただいたりかけていただいたりしながらホームと共に支えあうよう努めております。		
29 ○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	職員は家族の訪問時に日々の暮らしや様子を伝え、またレクや誕生会、行事等の活動の時には家族の参加を呼びかけ、より良い関係の継続に努めております。		
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている。	入居者さんの昔馴染みの理美容室の活用や入居前まで通院していた病院を活用したり入居前に定期的にお参りしていたお寺の集まりの友人との面会等馴染みの人や思い出の場所の関係を支援しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	入居者さん同士での談話等の機会では必要に応じて職員が仲介となり、友好的な関係を築けるように、またみんなで楽しい生活が送れるように支援しております。時には入居者さんが他入居者さんのお手伝いをして下さる事もあります。また食事の時間等では、楽しい食卓になるように職員が楽しい会話や声掛けを行っております。		
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	サービス利用の終了後にも、ご家族や本人には「いつでも遊びに来てください」「何かあればいつでも相談に来て下さい」等の呼びかけをし、その関係を断ち切らないように配慮しております。時には利用終了後に福祉用具の購入の相談もあります。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者さんの思いや暮らし方の希望、意向は、入居時に家族や本人より情報収集を行っており、また日々の生活を通して本人、ご家族より要望を確認しております。その時々思いを尊重したケアを行っております。		
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	サービス利用時には、自宅訪問や本人、家族、その関係者等から情報を聞き、これまでの経過等の把握に努めております。生い立ちや過去の生活背景、生活史をバックグラウンドアセスメントとして家族に記入していただいています。		
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	入居者さん1人1人の暮らし方を把握し、日々の行動をもとにその動作等から本人の全体像を把握しております。また出来ない事よりも出来る事に重点を置き、把握に努めております。出ること・出来ないことシート、分かること・分からないことシートを利用し把握しております。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	家族や本人の思いや意見を聞き、アセスメントを含め職員全員にて意見交換、モニタリングを行っております。サービス担当者会議を開き本人や家族が参加して(参加できない家族は面会時や電話で意見をお聞きし)意見を得ています。医師からの意見も受診時や往診時にコメントを頂いたり診療情報提供書を利用してあります。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	心身状況、身体状況の変化時には本人、家族等の関係者と話し合い、早急に介護計画の見直しを行い、新たな計画を作成しております。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別にてファイルを用意し、バイタル、食事、水分、入浴、排泄状況および、日々の暮らしの記録を行っております。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	病院送迎や法事等の家族で行われる行事への送迎、外泊時の送迎、その他状況に応じて支援の必要時は柔軟な対応を行い、支援しております。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○ 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	地域での暮らしを続けられるように、ボランティアの活用や民生委員等の意見をもらい、協力しながら支援しております。毎週月曜日にボランティアさんが来られお話し相手になって下さっています。		
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	本人の意向にて訪問理美容や今までの病院の支援を行っております。また必要性に応じて、他の事業所の関係者と話し合いを行い、支援できるようにしております。		
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。		○	現段階にて地域包括支援センターとの協力体制はとられていない現状です。今後、密な連携、協力体制を図り、協働出来るようにしていきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	入居前にかかりつけ医の確認をし、それまでの情報を得、本人や家族の意向のもと希望の病院にて適切な医療を受けられるように対応しております。		
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力病院との連携を図り、その都度、認知症についての助言やアドバイスをもらいながら必要があれば治療や服薬、検査を受けられる体制になっております。		
45 ○看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力病院の看護師等と往診時や受診時に相談や報告を密にし、特変事項等あれば助言をもらい、健康管理に努めております。		
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入居者の入院時は早期退院できるように、Dr等と話し合いをし、また家族とも話し合いをしております。また本人の情報を医療機関に提供したり、病院での生活の様子を知らせて頂いており速やかな退院支援に結び付けられるようにしております。職員のお見舞いも行い早くホームに戻ってきて欲しい、皆が待っていることを伝えてご本人の退院への意欲が現れるよう対応しております。		
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	契約時に重度化した場合の指針を書類にて説明、同意していただいております。又状況に応じて、家族、本人、かかりつけ医と今後の本人の方向性を含めた話し合いをしております。家族には体調、病状を詳しくその都度お知らせしております。		
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	本人、家族の意向を踏まえ、かかりつけ医、職員が連携を取り、安心、納得の終末期を迎えられる様に取り組んでいます。また急変化時には、早急に対応していただける医療機関と密な連携をとり、対応しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>他の場所へ移り住む場合はアセスメント、ケアプラン、生活環境、支援内容等の情報交換を行い、これまでの暮らしを継続できるように配慮しております。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個々の入居者さんのプライバシーや誇りを損ねることないように、人生の先輩に敬意をもちながら一緒に生活しております。また個人情報の意識の向上を図り、適切な配慮がなされるようにしています。</p>		
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>入居者さんの意思決定を尊重したケアを実践しております。沢山の選択肢から決定できないときは選択肢を狭めて自己決定できるように、また、意思疎通困難な入居者さん等には、表情やしぐさ等を観察し、職員都合での決定をしないよう努めグループホームでの暮らしの支援を行っております。</p>		
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>その時々本人の思い、気持ち、意思を尊重し、希望に添えるように支援しております。入浴の時間も本人の入りたい時間に合わせています。</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>その人らしい身だしなみやおしゃれの支援では、毎日の着替え時には入居者さんが今日着たい衣類を選んで頂くように支援しており、理容、美容には本人の希望の店に行くように支援しております。髪染めの希望のある方にはその都度職員が染めています。</p>		
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>食事の支度や後片付けは出来る範囲で入居者さんと職員にて行っております。また味付けや盛付け等、入居者の意見を聞き、食事を楽しむことのできる工夫を行っております。時には、昔からある料理の作り方を聞きすると生き生きとした表情で教えて下さり一緒に作ります。</p>		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	本人の望むものがあれば、その都度買い物に行ったり、タバコを吸いたい方にはその設備を整えたりと、その方の嗜好の支援を行っております。お酒も毎晩飲むことが日課になっている入居者さんに提供しております。		
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄表をもとに、排泄パターンの把握をし、その表をもとにトイレでの排泄を心掛けております。		
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	入居者さん1人1人の望む希望の時間、曜日等に入浴出来るように支援しております。朝風呂が好きな方、女性の後は絶対入浴しない方、其々、要望をお聞きしています。		
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	日中はなるべく生活活動が増すよう勧め、夜間には安眠できるように支援しております。また休息はその時の希望や体調面を考慮し、休息できるように支援しております。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	過去の生活歴、習慣、趣味を活かした役割や活動を勧めています。生活歴や過去の生活背景をバックグラウンドアセスメントとして情報を得、できること・できないことシートを利用し支援に役立てています。		
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	入居時には家族の方にお金に関する説明(本人の身近な場所にあった方が本人が安心する事が多い)をし、少額のお金を本人に持たせていただくようお願いをしており、職員と一緒に買い物をしたときにはそのお金を活かし使えるように支援しております。また、パンやさんや乳酸菌飲料の訪問販売時にも利用しています。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
61 ○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	天候の良い日等は買い物、花の水やり、洗濯物干し、散歩を行い、外にでる支援を行っております。又、日光浴の好きな入居者さんはベンチに座り道行く学生に声をかけたり交流を図る場として楽しんでおります。		
62 ○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	一人一人の要望に沿える様、外出行事を日々考案し、時には家族の方の参加を呼びかけて、外出支援をしております。		
63 ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	電話や手紙を好きな時にやり取り出来るように、また電話は居間だけでなく、他の個室(事務所)でも話せるようにし、他の方に聞こえないような配慮を行っております。		
64 ○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会時間に制限は無く、どんな方でも訪問できる環境です。また居室での宿泊にも制限は無く、希望時はグループホームの食事を提供しております。		
(4)安心と安全を支える支援			
65 ○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束をしないケアの取り組みとして、定期的に勉強会を設けております。また外部研修に参加し、その後研修内容を報告し全職員周知するようしております。		
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	日々の見守りに気を配り、鍵を掛けないケアを行っています。また外出したい方がいれば職員と一緒に散歩やドライブ、さりげない後追い、声掛けを行い、自由のある暮らしを支援しております。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
67 ○利用者の安全確認 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。	各ユニットにてフロアーの職員が見守りを行い、夜間は居室が見渡せる食堂、談話室にて見守りを行い、安全に配慮しております。		
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。	全てを禁止するのではなく、その時々の入居者の状況を理解し、必要があれば職員の見守り等にて対応しております。		
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。	事故防止の為の取り組みとして、職員が事故防止等の研修会があれば参加しており、外部研修に参加した内容は研修後、全職員に周知するようにしております。又、ホーム内で起きてしまったヒアリハット後、事故後は職員皆で対応の仕方、今後の注意等話し合いをしています。		
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。	定期的に勉強会や外部研修に参加し、全職員がその状況時に対応できるようにしております。マニュアルの作成も行っています。		
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。	年数回、消防による避難訓練を行い、また夜間(2人体制)での避難訓練も行っております。尚、災害時での集合場所も家族の方に伝えております。		
72 ○リスク対応に関する家族との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。	入居契約時に家族等にグループホームでの暮らしの中で、起こりえるリスク(転倒、病気等)について説明し、了承して頂けるようにしております。又、入居後、必要時は面会や電話での会話でその都度説明し、了解して頂いています。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日、体温、血圧、脈拍のバイタルチェックを行い、その記録を行っております。またそれ以外にも顔色の変化、食欲状況、排泄状況、歩行状況、身体状況等の様子の変化にも留意しており、変化があれば、かかりつけ病院の看護師や医師等に報告しております。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬表やお薬手帳を活用し、職員が内容等がわかるようにしております。薬の変更や追加、減量があった場合は、口頭および連絡ノートを使用し皆に周知していただいています。また服薬の際は名前、服薬時間を確認後、手渡しにて服用の確認を行ない、飲み込んだのを確認しております。変化があれば、記録、医者への報告をしております。		
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	入居者さんの暮らしの中で水分チェックや体操、散歩、家事等の体を動かす機会を設けたり、食物繊維が取れる食事や牛乳・乳酸菌飲料、腹部マッサージを行い便秘予防に取り組んでおります。		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後、歯みがきの声掛けを行い、入居者さんの状況に応じて職員が介助しております。歯牙のみで無く、舌、口蓋、義歯の汚れを除去しています。そしてほぼ毎日嚥下体操を行い、嚥下力の維持、向上に努めております。また適時、口腔ケアの勉強会を行い、全職員が適切な技術を理解しております。		
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日、食事摂取量や水分量をチェックにて記入し、職員全員が共有できるようにしております。また食事のメニューは栄養士がカロリー計算しており、バランスの良い栄養になるように支援しております。残されたときは理由をお聞きしています。(満腹、嫌いなメニュー、体調が悪かった等)		
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	適時、感染症の勉強会、研修を行い、職員の意識、理解に努めております。またマニュアルを用いて対応、対策を行っております。その他インフルエンザ予防接種は入居者さん、職員全員受けております。(ワクチンが合わない職員を除く)又、時間ごとの消毒を行いペーパータオルも使用しております。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
79	<p>○食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	<p>食中毒予防の為、マニュアルを用いて、各消毒チェック表を使用し衛生管理の徹底を行っております。また適時、勉強会や研修に参加し、職員の知識、理解の向上に努めております。在庫を沢山置かず新しいものを提供できるように努めています。食材納品の際は検品にも気を配っております。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>○安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	<p>玄関前に「ご相談下さい」の紙を張り、いつでも気軽に出入りできるようにしております。また玄関前に花を飾り、雰囲気の良い環境に心掛けております。</p>		
81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>グループホーム内にて季節に合う花類を飾ったり、職員と入居者さんが一緒に季節の飾り物を作成し壁に飾っております。食事の際は季節の旬のものを使用したりと、その時期を感じていただけるような居心地の良い工夫や空間作りをしております。</p>		
82	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>入居者さん同士が語り合えるようにソファ・イスをL字に設置したり、一人で過ごしながらもホームの様子が分かるように廊下の端にもソファを設置し利用していただいております。</p>		
83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>入居時には今まで使用していた馴染みの物をなるべく持って来て頂く様に説明し、同意があればお部屋に活かしております。又、家族からのプレゼントを飾ったり、心のよりどころとなる仏壇を置きお経を上げられるような環境も作っております。</p>		
84	<p>○換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	<p>日中、定期的に空気の入替えや必要に応じて加湿を行っております。トイレは常に換気扇を回し、トイレ・玄関には消臭、芳香剤を利用し、においに対するの配慮を行っております。また温度管理は各居室、食堂、居間に温度計を設置し、温度管理しております。</p>		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。	グループホーム内にて手すりを多く設置し、またトイレやキッチンの間口の広さの確保や、車イスの高さに調整した洗面等、利用者側の立場に立った環境の工夫をしております。		
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。	各ユニット事に、時計、カレンダーを多く設け、入居者の状況に合わせた環境整備に心がけております。居室やトイレの場所を理解されない入居者様には理解できるように印をつけております。字を読んで理解できる方には大きめの字で記し理解していただいています。またその環境にて新たな混乱等が生じた時には、速やかに不安等を取り除くようにしております。		
87	○建物の外回りや空間の活用 建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。	外回りには花畑や家庭菜園があり、都度入居者さんと一緒に水撒きや収穫等を楽しめるようにしております。裏庭では花火をしたりレクリエーションに利用しております。玄関ポーチにはベンチを置き日光浴をしながら道行くご近所さんや学生と挨拶したり交流の場になっております。		

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果		
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんど掴んでいない	①
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	①
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	②
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている	① ほぼ全ての利用者 ② 利用者の2/3くらい ③ 利用者の1/3くらい ④ ほとんどいない	①
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族 ② 家族の2/3くらい ③ 家族の1/3くらい ④ ほとんどできていない	①
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	①

V. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
97	<p>運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。</p> <p>①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない</p> <p>①</p>
98	<p>職員は、生き生きと働いている</p> <p>①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>①</p>
99	<p>職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>①</p>
100	<p>職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う</p> <p>①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない</p> <p>①</p>

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)